

ハレまちな日常 book

vol.1

2024
MARCH

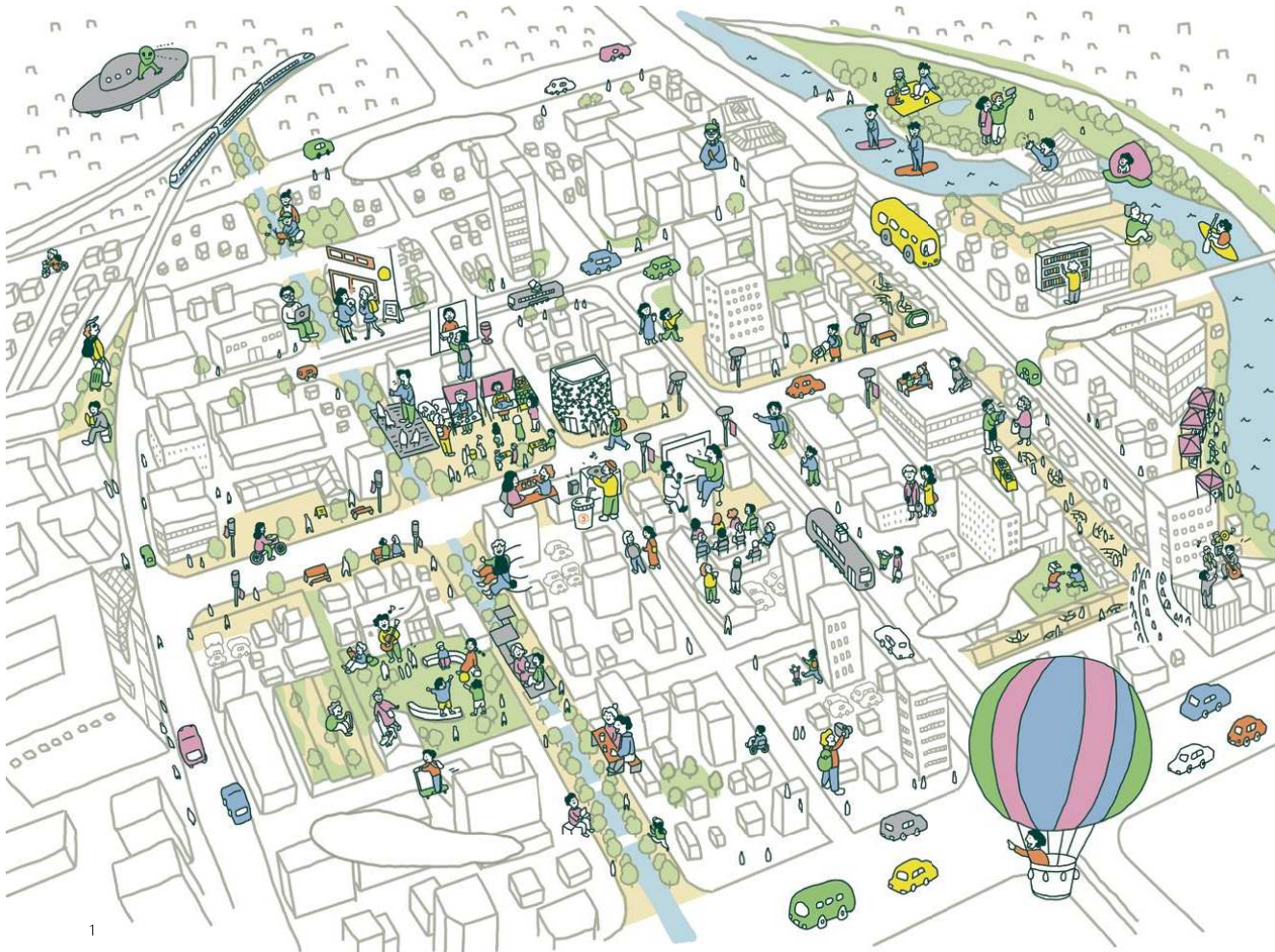
歩いて楽しいオカヤマ、マチナカのススメ



ハレまちな日常 book

contents

- area
1 下石井公園 P2
- area
2 ハレまち通り P8
- area
3 西川緑道公園 P14



Okayama City

~~~~~

ここは岡山県岡山市。温暖な気候で晴れの日が多いまち。マチナカを歩いてみると、個性豊かなエリアがにぎわい、多様なヒト・モノ・コトたちが、枠を超えてあちこちでまちを楽しんでいます。今マチナカで起こっている変化を知り、岡山の魅力を発見してもっとまちに親しんで欲しい。そんな思いから生まれたのがこの本です。

いつもは車移動が多いというみなさんも、たまには車を停めて、マチナカを歩いてみると新しい発見や出会いがあります。あなたらしい「ハレまちな日常」が岡山のマチナカにきっとあるはずです。



area 1

# 下石井公園

シモイシイコウエン

マチナカにみんなの天然芝リビングが誕生

思い出の「キシャコー」  
が第3の居場所になる

JR岡山駅から約10分ほど歩くと西川沿いに下石井公園があります。市立図書館や保育園が隣接しており、立地的に、買い物やお出かけのついでに立ち寄ることができ、マチナカ暮らしに貴重な緑を楽しめる公園に生まれ変わりました。

蒸気機関車が展示されているので汽車公園「キシャコー」の愛称で学校帰りの子どもや若者が自然と集い「連絡を取り合わなくてもあそびに行けばみんなに会える」、そんな場所が下石井公園。1960年に開園して以来、まちを歩き交う人々へ憩いの場を提供してきました。

一方で、リニューアル以前はベンチなどくつろげるスペースが少なく、市民の関わりしるが薄いことが課題でした。

岡山市民が青春を過ごしたかつての場所を、これからは老若男女が心地よく使える空間へ。下石井公園のグラウンドを芝生化し、多様な人が憩える場所へとリニューアルする計画がスタートしました。2023年から2024年にかけて、グラウンドを天然芝化。園内には青々とした芝生広場が広がりました。ふかふかの芝はどこにでも座れ、レクリエーションにしても安心です。

さあ、生まれ変わった下石井公園でどんなふうに過ごしましょう。

( before )



## 「下石井公園はどんな居場所であってほしいか」を市民みんなで考える

### 社会実験や議論を通じて、市民と一緒につくる公園に

下石井公園の芝生化計画は、市民同士の対話を重ねることで実現しました。「グラウンドを緑化したら多くの人が訪れてくれる」。そんな仮説を実証するべく、2021年に人工芝を敷く48日間の社会実験を実施。人工芝の上で子どもが思いっきり遊んだり大人が見守りながらくつろいだりする様子など、これまで利用者が少なかった時間帯も公園がにぎや

かになり、市民のライフスタイルに変化をもたらしました。

2022年には公園の未来を考える市民参加型の「下石井公園デザインミーティング」を開催。下石井公園に緑のある登壇者が「日常的に使いやすい公園」についてアイデアを出し合いました。参加者から「マチナカの居場所として活用したい」「日常では出会わない人々がゆるやかにつながり、コミュニティを形成する場」など、市民の声によって下石井公園の在り方が形作られていきました。



いろいろな市民と対話を重ねる社会実験とは

公園で遊ぶのは子どもだけではなくありません。人工芝スペースへやってきたキュートな女子高校生。お弁当を食べたり、宿題をしたりと、学校や家、塾以外に居場所ができ、のびのび楽しそうでした。



多様な主体とアイデア出するデザインミーティング

市民からプレイヤーまで、デザインミーティングの登壇者。「自分の手で自分たちの暮らしを楽しくする」というメッセージには下石井公園を豊かにするヒントが隠されていました。



## 多様なライフスタイルに寄り添う芝生広場で遊ぶ

### 市民のリビングになったふかふかの芝生広場

市民とリニユアールの過程を共有しながらつくられた下石井公園は、2024年3月に工事を終え、芝生広場が市民にお披露目されました。デザインミーティングで多くの意見があがった「日陰がほしい」という要望に応え、新たに4本の高木が設置。芝の品種には傷んだ後の回復がはやく踏まれ強い「改良高麗芝」を使用し、広々とした天然芝と木々の緑が

癒しの空間を提供しています。

社会実験を経て「ピクニックワゴン」が継続に。ワゴンにはテーブルやイス、マットなど、公園を自宅のリビングのように過ごせるアイテムが揃い、無料で使用できます。天気の良い日はピクニック、まち歩きをした後の休息や子どもが気兼ねなく遊べる場所に。雨の日も雨宿りして水々しい芝生を眺めるなど。イベントはもちろん日常使いの空間へと整備され、多様な人が楽しみを見つけられる公園へと生まれ変わりました。



手ぶらでピクニック公園の楽しみを広げる仕掛け

「遊ぶ」「くつろぐ」など、テーマにあわせたアイテムが入っているピクニックワゴン。手ぶらで遊びに行けて、さまざまな楽しみ方ができるのもうれしいポイントです。



イベントでも日常でも大活躍自由にくつろげる芝生広場

2023年7月に行われた芝生びらき(半面)の様子。これまでお祭りやイベントの会場として使われてきた下石井公園に芝生広場が加わり、使い方の可能性が広がりました。



Let's All Play!



ピクニックワゴンのアイテムを広げて遊ぶ様子。大人から子ども、赤ちゃんまで一緒に遊べるところはマチナカにありそうでなかった場所です。

思い出が増える



Lunch



芝生広場を囲むように設置された白いロングベンチ。天気の良い日には近隣の飲食店でテイクアウトをし、ベンチや芝生に座ってランチやカフェタイムを楽しむ人も。

Event



裸足で芝生を駆け回ったあとにイベント時に振舞われたかき氷を頬張る子どもたち。思いっきり遊んだあとに食べるキンキンに冷えたかき氷は格別です。

Park Picnic



道具をシェアできる



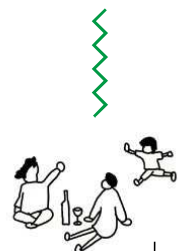
公園を楽しむための道具をみんなでシェアする文化が生まれました。遊び道具をみんなで大切に使うことで、子どもたちは遊びながら公共のエチケットが身につきます。

Run!



下石井公園では大人も子どもも一緒になって遊びます。芝生だから裸足で走り回ることもでき、転んでも安心。子どもがたくましく育つ環境が整っています。

みんなのリビング



夕方安心して遊べる

Bon Odori!



夏には盆踊りが開催され、地域の催しや夜のシーンの活用も広がりました。暗くなるとロングベンチの足元の間接照明が点灯し、落ち着いた雰囲気を楽しむ市民の姿が見られました。

## Shimoishii Park

Playground Equipment



リニューアル工事に伴い、園内にはお菓子の名城をモチーフにした複合遊具が設置されました。子どもが主人公のお城で思いっきり遊ぶ子どもの姿は公園の活気そのもの。

# ハレまち通り

ハレマチドオリ

にぎわいの中心、人が主役のメインストリート



( before )



広がった歩道には多くのベンチが設置されマチナカを思い思いに過ごすことができるように。そしてハレまち通り沿いのお店は店舗前の歩道1メートルを使用することができるよう。個性豊かなお店のにぎわいがハレまち通りへ広がっていきます。

ハレまち通りを見守ってきた縁深いお寺「蓮昌寺」の八木景子さんは「玉探しのようなことができる通りになったら楽しいですよ。わたしたちは予期せぬ出会いにドキメキや驚きを感じますから」といいます。

ストリートが居場所となり、にぎわいを共有する場へ。そんな新たなカルチャーが芽吹きはじめています。

車では見過ごしてしまうにぎわいを共有する道

「岡山駅周辺エリア」と「旧城下町エリア」をつなぐ県庁通り（市役所筋から柳川筋）の愛称は、2022年「ハレまち通り」になりました。大きな商業施設などが立地するにぎわいの軸として重要な道路でありながら、15メートルというほどよい道幅や、一方通行車線であることが特徴です。元々、イケてる飲食店や洋服屋さんなどがあり、カルチャーの発信地でしたが、更なる人中心の魅力を引き出すポテンシャルを見込んで、「県庁通り歩いて楽しい道路空間創出事業」が始まり、二車線通行が車道一車線に。

## お気に入りを取りクアウトして ハレまち通りに繰り出そう

### カフェに、レストランに、 バーにもなる道

コロナ禍を経て、マチナカはテイクアウトが気軽にできるお店が増えました。リニューアルしたハレまち通りでは歩道にベンチが多く設置されたことで、誰もがまちで滞在できるようになり、「あそこに行けば居場所がある」環境に。

ハレまち通りに路面店があるマルゴデリのオーナー平野裕治さんは「マルゴのジュースなどを飲みながら、まちをウォ

ウロしてほしいです。そうしたらまち全体がカフェになります。お腹が空いたらパンを買ったり、ランチをしたり。いろんなお店のグルメをいっぺんに楽しめるのもテイクアウトの醍醐味ですね。お店を回れば、大人も子どもも各々好きなものが食べられるし」とハレまち通りの楽しみ方を提案。

また、歩行者が増えることで通り沿いに新規の出店も増えています。市民がハレまち通りを使いたおすることがまちをもっと便利に楽しくするのです。



お店の個性がストリートに漏れ出る1Mオープンテラス

ハレまち通りにある店舗は軒先の歩道1メートルはみ出る許可を取ることができ、イートインスペースをつくるなど開放的なイメージに。人がくつろぐ様子はまるでパリのよう。



ハレまち通りの路地裏はカルチャーの宝庫

メインストリートの路地裏にはまた違う楽しみが。ナチュラルワインショップ、クラブまで。マチナカで生まれ育つ岡山カルチャーはここが発信拠点になっています。



## 公共空間を自分らしく過ごせる場所に変えられる。プレイスメイキングツール

### 市民が使い方をハックできる 公共のイスやテーブル

道路を一車線化した最大の目的は、まちに人が留まることで生まれるポジティブな変化を育てること。

ハレまち通りの整備を主導した岡山市は「道路整備はゴールじゃなくて、新しいまちのスタート地点。ここで市民のみなさんにいい景色を見せられるように頑張ります」といい、さまざまなコミュニケーションツールをまちにインストール。

ハレまち通りは人々が行き交う公共の道路でありながら市民が目的を持ち寄って集う場としての機能を備えています。

イスやテーブルがこんなにたくさん配置された通りは岡山のマチナカでは珍しく、「ここにおいてよ」「みんなの居場所ですよ」というメッセージにも感じます。鳥が羽を休めるとまわり木のようにまちに居られるやさしい工夫。そんなまちのとまり木では、市民が各々思いのまま過ごすことができます。



可変式で自由自在の使い方ができる「PUBLIC WAGON」

歩道空間を活用するため開発された「PUBLIC WAGON」。使用者が自ら移動することができ、広げる、たたむなど人数やスペースに併せて可変することが可能に。



「目的地」になりうるテーブルとベンチ

設置された個性的なテーブルとベンチ。まちのダイニングテーブルとして使ってよし、テレワークなどオフィスのデスクとして使ってよし、多目的に寄り添うツールです。





Wine



マチナカで行列のできる人気店の料理をワインで気軽に。屋外で美味しいものが食べられるのもマーケットの醍醐味です。こんな日常を岡山の週末にプラスオン。

@harema.okayama

岡山暮らしを豊かにする  
マーケットがスタート

岡山は食材が美味しいまちです。そしてマチナカには、その食材の魅力を生かしたおいしい料理を食べさせてくれる飲食店も多くあります。そんな生産者と飲食店が一同に会し、岡山の豊かさをわかちあう。そんなマーケット「ハレマ」がハレまち通りに誕生しました。

ふだんはハレまち通りに面した駐車場がマーケット会場となり、つくの人とたべる人が、それぞれの「おいしい」をみせあう一日。岡山の日常の「おいしい」が「ハレマ」に集います。

今まで三回行われ、いずれも大盛況。次回は岡山の野菜が美味しくなる春の終わりに開催予定です。



Vegetable

岡山は食材の宝庫！野菜、魚介類、ジビエなど、近隣の新鮮な旬食材が集結。瀬戸内市のオーガニックファームなどスーパーなどでは手に入らない貴重な食材も。



Obento



出店している農家さんのお野菜を少しずつ楽しめるお弁当はハレマの大人気商品。その場で食べて美味しかった野菜を食材として買って帰れるのもハレマの良いところ。

おいしさを(みせあう)マーケット  
ハレマ



Products

ファッションと作業着の中間のものづくりをする倉敷の「NAPRON」や、食卓を彩るかごや食器類を扱う「アクシスナーフ」なども出店。暮らしの道具も揃います。

Pairing



飲食店と生産者をつなげてマーケットを開く提案は「スロウカーヴ」の店主・渡邊さんのアイデア。当日は、ひとりひとりの気分にあう贅沢な1杯ワインをセレクト。

With Street



ハレマが開催される日はハレまち通り全体もにぎやかになります。お向かいのカフェでは、1M使用の許可を取り、オープンカフェを行っていました。



A Fun Place for Everyone

いつもは車しかない駐車場が、大人から子どもまで、美味しいものを前にニコニコ笑顔で「見せ合う」マーケットに。ここで得た豊かさは日常の食卓を彩ります。

休日の  
おでかけに







area 3

# 西川緑道公園

ニシガワリョクトウ  
コウエン

「ハレ」も「ケ」も楽しめるマチナカの水辺空間

「夜のオアシス」に新たな  
にぎわいをプラス

西川・枝川緑道公園は市街地を南北に流れる西川用水とその支流の枝川用水の両岸を整備した緑道です。埋め立てたり暗渠化したりすることが主流だった用水路を残し、総延長2・4キロメートルの緑道沿いには水上テラスやベンチが設置されました。

西川エリアは約600店舗の飲食店が集まる繁華街でもあります。飲み歩く人がにぎわう中心にある西川緑道公園は、にぎわいはさまざま落ち着いた時間が過ごせるマチナカのオアシス。せせらぐ川や木々が月明かりに照らされ、歩くだけで幻想的な雰囲気を楽しめます。

ここに新たににぎわいをプラスしようとして週末にさまざまなイベントが開催されています。満月に一番近い週末の夜に行われる「満月BAR」をはじめ、地元のバンドメンバーによる音楽ライブや、西川沿いの車道を歩行者天国にする「ホコテン」など、ついぞぎたくなる楽しい空間が広がります。夏は和の光のライトアップ「西川夏あかり」に、冬はイルミネーションも。夜の水辺で音楽を聞き、飲食できるのも岡山のマチナカならではの魅力です。

そんなマチナカの水辺がつくりだす、スペシャルな日常を少しだけぞいてみましょう。

( 10 years ago )



## 大人も子どもものびのび過ごせる歩行者天国 「ホコテン！」に休日のおでかけへ

車が行き交う西川沿いの道  
が人でにぎわう日曜日

西川緑道公園沿いの車道が歩行者に解放されるイベント「ホコテン！」。いつも多くの車が行き交う道路にはテーブルやイス、出店ブースが並び、道全体が公園のような空間に。訪れた市民がのびのびと歩き、買い物やアクティビティを楽しむ人々にぎわいます。

食材を購入できるマルシェからステージパフォーマンスまで休日を楽しく過ご



ぼかぼか陽気に包まれて、くつろぎチェアで日光浴

緑道沿いにはくつろぎチェアが登場。木々と一緒に太陽の光を浴びて気分リフレッシュ！いつもは車で通り過ぎてしまう場所も自由にくつろげるチルスポットに。



天気の良い日は西川のほとりで、ピクニックをしよう

イベントがなくても西川緑道公園はみんなの水辺。天気の良い日は公園内にイスやテーブルを置いて囲らんする人たちの姿。美味しいごはんを囲み、仲間との会話に花が咲きます。

せるコンテンツが盛りだくさん。子ども向けのイベントスペースは、道路に落書きをしたり、ハンモックに揺られて絵本を読んだり、大人が中心になりがちなマチナカにおいて子どもが思いっきり遊べる貴重な場となっています。

一年に数回開催される「ホコテン！」はテーマの多様さも特徴。色々なスポーツや遊びが体験できる「子どもホコテン」や、グルメをテーマにしたものなど、充実したイベントがマチナカに暮らす市民の楽しみを生み出しています。



## 水辺がシックでおしゃれなバーになる。 「満月BAR」などロマンチックな夜を

夜の西川が盛り上がるイベントは市民のお楽しみ

満月の夜になると西川緑道公園がロマンチックなバーへと様変わり。たくさんの方が集まり、ステージの生演奏を聴きながら公園内で食べて飲んで楽しんで。そんな西川エリアの夜のにぎわいを創出する「満月BAR」は2012年に地元の有志によってスタートしました。非日常な空間だからこそ、知らない人と友達になったり、旧友とプチ同窓会を開いた



まちの特徴を活かして近隣飲食店の出来立て料理を提供

夏は明るいうちから美味しい料理とドリンクが楽しめます。「満月BAR」で提供される料理は近隣の飲食店が出来立てを会場まで運び、キャストがサーブするスタイル。



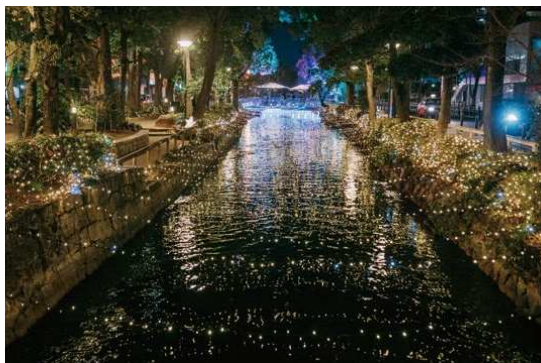
時代にあわせて変化する、イベントのネオンカラー

立ち飲みスタイルの「満月BAR」の様子。コロナ禍では、しっぽり飲めるテーブル席を用意し、お客さんのニーズにあわせて形を変えながら開催を続けてきました。

り。夜の西川を盛り上げ、人と人をつなぐ大切な場所として10年以上、夜のマチナカに根付いてきました。

バーテンダーに扮したキャストのおもてなしと、近隣飲食店から運ばれてきた出来立て料理が楽しめるのも「満月BAR」の醍醐味。満月BARを理由にキャストが気兼ねなくおしゃれをし、市民が夜の西川へ飲みにでかける。マチナカのみんなが開催を楽しみにする。「満月BAR」は、西川の夜の風物詩として世代を超えて愛され続けています。





### Illumination

西川緑道公園の木々や川辺が約24万個の電球に彩られるイルミネーションは、マチナカの冬の風物詩。水面に反射した光がキラキラと輝き、まるで天の川のように。



### Hokoten

「子ども西川ワクワクまつり」をテーマにした「ホコテン!」。車道にはテーブルやイスが並び、海外のような街並みに。緑道も車道も垣根なく人が行き交います。



### Have a Break

水辺を日常づかいに



### Rakugaki



「ホコテン!」では、車道がチョークを使って自由自在に落書きできるキャンパスに。子どもたちの手によってモノクロな道路がカラフルでアートな道へと変身します。

### Relax



いつもの西川は市民の散歩コース。天気の良い日は川のせせらぎや木々を吹き抜ける風が心地良く、歩いているだけで気持ちが晴れやかなる緑道です。

## Nishigawa Canal Park



### Rescue



岡山市消防局とコラボした「ホコテン!」では、消防士の仕事体験やホースを使った綱引きも。セント・パトリックステーと同時開催され、過去一番の盛り上がり。



### Event

「満月 BAR」の元キャストに話を聞く公開インタビューが西川緑道公園で行われました。交流会では参加者と登壇者が円になり、プチ満月 BAR のような時間に。



## マチナカノ ススメ

岡山市中心部（マチナカ）の個性豊かなスモールエリアの魅力をまちを愛する人たちのインタビューなどを通じて発信中。



海外からの旅行者にも好評な  
KAMPカレー

## 岡山を 代表する繁華街 西川エリア

桃太郎大通りから西川緑道公園を南へ向かうと繁華街らしいにぎやかさがあり「岡山の繁華街はどこ？」と尋ねられたら市民はまずこのあたりを案内します。

事業者も住民も  
観光客も笑顔あふれる  
まちにしたい

池田屋成育果ラボ  
池田さん



マチナカは  
今日も何かが  
起きています

ここは自分の  
シーンをつくれ  
る場所です。



ゲストハウス KAMP  
北島さん

## オカヤマの西口は カルチャーの増城 奉還町

岡山駅西口は岡山大学など文教エリアや岡山県総合グラウンドがあり比較的閑静なエリア。そのなかで奉還町商店街は若者を中心としたカルチャー発信地として注目されています。



目的地になるような  
まちでのんびりしてく  
ださい。

とりにくぐる  
成田さん



季節折々のイベントが楽しい  
NAWATE

肩の力をぬいて、  
やりたいようにやらせ  
てくれるまちです。

ゼロどーなっつ  
加藤さん



ふるさとの  
風景を残すため  
に活動中！

カタマラン  
久山さん・打谷さん



## 隠れ家的な名店多し 富田町・ 野田屋町

江戸時代ごろは武家屋敷として栄え、忍者の隠れ屋敷があったとされるエリア。今は愛されドーナツ屋、美しいレレクトショップ、かやくごはんにイタリアンなど隠れた名店が多い。



日替わりでお店が変わる  
「パブリックカウンター」

## 岡山の文化と美の集積地 カルチャーゾーン

岡山県立美術館、岡山市立オリエント美術館をはじめとしたパブリックな施設が集まるエリア。これだけの施設が一堂に集まるのはコンパクトシティ最大の恩恵。



岡山新一設計の岡山県立美術館

## 楽しみかたは無限大 京橋・旭川

一級河川・旭川は市民のオアシス。河川敷ではカヌーやバーベキュー、焚き火など思い思いに過ごしている。毎月第一日曜に行われる「京橋朝市」などの楽しみもあり。



京橋朝市

一番好きな  
ことをして暮ら  
せるまちです。



ブリチャード夫婦

## おなかもこころも満たされる 田町・飲食ゾーン

駅前から西川緑道公園、そして表町まで、エリアごとに特色のある飲食店が軒を連ねています。のんびりまちを歩けば、お気に入りのお店に必ず出会えます。名酒屋が多いのも◎。



和酒 Bar Iwatsuki  
岩月さん

岡山の食文化  
を支えます！



飲食店へ卸も行うスロウカウヴ



大人も子どもも昼夜問わず  
遊べるまちへ

歩いて楽しい岡山市

ハレの国

パブリックを使い倒す

まちをリビングに

楽しみは自分でつくる

マチナカで育てる

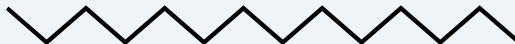
好きを仕事に

日常をスペシャルにする

まちとゆるくつながる

思いがけない価値と出会う

遊べるまち



## ハレまちな日常 book / vol.1

発行日 2024年3月31日  
発行 岡山市 都市整備局 庭園都市推進課 街なかにぎわい推進室  
企画 株式会社オープン・エー  
編集・執筆 アサイアサミ・岩井美穂 [ココホレジャパン]  
デザイン 福江真弓 [cavum]  
撮影 池田理寛 [D-76] <表紙/P8-P10/P14-P15/P19>



岡山市中心市街地の地域情報を発信するメディア  
岡山市公式 note 「マチナカノススメ」